

大学生になったらクルマの免許を取ろう！ 車校のてびき

大学生になったら車を運転して友達と遠くへ出かけたいと思っている人が多いのではないのでしょうか。また、社会に出た後も様々な場面で車を運転する機会が出てきます。もちろんそのためには運転免許が必要ですね。そこで、ここでは**自動車学校と免許の取り方**について説明します。

「車校」って、なに？

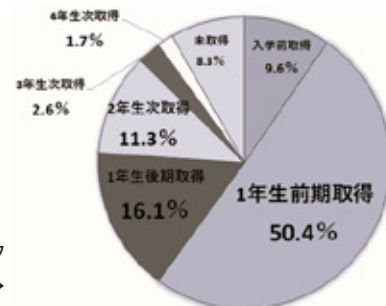


愛知県をはじめとする東海地方では、自動車学校・教習所のことを「しゃこう」と呼びます。東海地方以外出身の人は「しゃこう」と聞いてピンとこない人もいますが、今後よく聞く言葉なので覚えておくとよいと思います。ちなみに東京・大阪では「教習所」という言い方が一般的だそうです。ほかには「自校」「車学」という呼び方も。

いつ通う？



右の図を見てみましょう。
生協で車校の申し込みをした人のうち、約75%の人が**1年生の後期(秋学期)までに免許を取得**しています。学年が上がるにつれて実験や就活、卒論、院試などで忙しくなるので、**1年生の前期(春学期)に通い始めるのがおすすめです**。
ちなみに、免許を取っても今は車に乗らないからまだ取りたくないなあと思っている人、いませんか？ペーパードライバー教習というものを実施している学校もあるので、利用してみてもいいかもしれません。



自動車免許取得時期のグラフ
(2024年度卒業生アンケートより) ▶

Column 大学生のうちに免許を取得すべき理由

大学へは電車で通えるし、車の免許は必要ない。——そう考えている新入生の皆さん。あえて言います。免許取得は「今」が最高のタイミングです。なぜなら、大学時代は人生で最も時間に余裕がある**ゴールデンタイム**だから。サークルの仲間との遠征、長期休み中の旅行、思い立った時のドライブ。免許証が1枚あるだけで、皆さんの行動範囲と大学時代の思い出は、桁違いに深く広がりのあるものになります。早いうちから免許を取り、限りある大学生活を悔いの残らないものにしましょう！

どこの車校にする？



車校の数は多いので、どこの車校に通うか迷うかもしれません。そこで、代表的な3パターンの車校の選び方を紹介します。それぞれの特徴を見て、自分に合うものを選んでみてください。

大学周辺(名大付近)

- ・授業の合間や授業終わりに通いやすい(スクールバスが出ています)。
- ・平日中心に通うので土・日は好きなことができる。
- ・大学の友達と通える。

地元(地方)

- ・地元の友だちに会える。
- ・休日や長期休暇を中心に通いやすい。
- ・慣れている道を運転でき、安心して路上教習に臨むことができる。
- ・授業がある平日は通いにくいかも。

寄宿

- ・ホテル・旅館・寮・民宿などに泊まりながら免許が取れる。
- ・一人で行くと孤独になってしまうかも。
- ・短期集中型。
- ・観光ができる。
- ・夏休み等は人気があって申込ができないかも

Column 二輪免許について

免許というと四輪車を思い浮かべる人が多いかもしれませんが、バイクやスクーターなどの運転に必要な二輪免許もあります。四輪免許だけでなく二輪免許も取得してツーリングなどを楽しむのもよいかもしれません。

AT と MT



四輪車の免許を取る場合、AT車とMT車の2種類があります。これらの違いを見てみましょう。

AT車 (オートマ車)	MT車 (マニュアル車・ミッション車)
<p>ATはAutomatic Transmissionの略です。街で走っている車は大半がAT車です。</p> <p>アクセルとブレーキのみで操作するため、運転はMT車より比較的簡単です。ただし、免許証には「AT車に限る」と記載されており、MT車を運転することはできません。</p>	<p>MTはManual Transmissionの略です。</p> <p>アクセルとブレーキに加えて、クラッチやギアの操作が増えます。AT免許を取得後に限定解除してMT免許を取ります。MT車の免許を取ればAT車の免許では運転できないスポーツタイプのMT車なども運転することができます。</p>

入校後の流れ (四輪車の場合)



下に、週4コマの教習を受ける場合にかかる目安の期間を示しています。

入校式	教習の流れや予約の取り方などの説明を受けた後に1回目の学科教習を受講します。	
第一段階 (効果測定) → 修了検定 → 仮免学科試験 →	<p>学科教習 運転者の心得・信号・標識・免許制度など、基礎的な内容を勉強します。</p> <p>技能教習 校内のコースで、運転の基本操作を身につけます。</p> <p>仮免学科試験に備えて実力を確認するための模擬試験です。 (自動車学校によっては第一段階では行わない所もあります)</p> <p>校内のコースで、第一段階の技能が身についたかどうかの技能試験を受けます。</p> <p>第一段階の学科教習内容を試験範囲とするペーパーテストを受けます。 (※二輪車は路上での技能教習がないので、修了検定・仮免学科試験がありません)</p>	
ここまで 1ヶ月半 (目安)	第二段階 効果測定 → 卒業検定 →	<p>学科教習 駐停車禁止場所や危険予測・応急手当など、より実践的な内容を勉強します。</p> <p>技能教習 実際に路上を運転し、流れに沿った走行や危険を予測した走行を身につけます。 高速道路の走行の練習もあります。</p> <p>本免学科試験に備え、模擬試験を受けます。</p> <p>第一段階と第二段階の技能が最終的に身についたかどうかの試験を受けます。 1人で路上に出て運転しても大丈夫かどうかを確かめる技能試験です。</p>
ここまで 4ヶ月 (目安)	卒業! やったね!おめでとう!!	
本免学科試験	住民票のある都道府県の運転免許試験場で、 学科の最終試験 を受けます。 これに合格すれば、晴れて免許交付となります。	
免許交付	早速ドライブに出かけましょう!四輪自動車の場合は、初心者マークも忘れずに。	

Column 自動車学校には「期限」があります

自動車学校に通って免許を取得する場合、教習期限があり、教習開始日から9か月以内に技能教習と学科教習を全て修了しなければなりません。自分のスケジュールにあったプランで通わないと、授業やバイトでどんどん遅れて、ぎりぎりになって切羽詰まって通うことに。いつ通い始めるかは、慎重に考えましょう。

どこで申し込みをしたらいいの?



大学周辺の自動車学校に通う場合や合宿に行って免許を取る場合は、名古屋大学生協で申し込みをすることができます。生協が提携している自動車学校は、直接申込をするよりお得な料金で入校でき、大学生協担当のスタッフがいます。新学期には、南部食堂 (Mei-dining) にて自動車学校スタッフによる相談会を実施しています。

さて、ざっくりと説明してきましたが車校のことは理解できましたか?自動車免許を取得すれば、自動車に乗れるだけでなく、身分証明書としても使うことができます。ぜひ早めに取得して楽しい大学生活を送りましょう!車校について何か困ったことがありましたら、ぜひ一度相談会へ行ってみてください!



↑相談会の日程など
詳しい情報はコチラから!